



亡き父の面影残る旧家の古材や、この土地に古くからあった石を用いた、思い入れの深いK様の家づくり。完成から一年経ったお住まいに伺うと、そこには新しい家族の姿が！この家の快適さを証明してくれるような「ウズラが住む家」を訪ねました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.100



ご主人 私は当初、薪ストーブに抵抗感がありましたが、やり始めると楽しいものですね。ご近所からりんごの木をもらい、薪づくりが週末の日課になり、薪棚も自作しました。近所に畑も借りて、都会暮らしでは味わえなかったライフスタイルを楽しんでいます。



ゆったりとした土間サロンで、外との行き来も自在。



母屋の一部を解体し、横並びに新築。落ち着いた外観デザインが周囲の建物や歴史ある庭と調和する。



K様ご家族／ご夫婦、お母様、お子さん3人 ※取材日はご友人もいらっしゃいました
建設地／長野市風間 営業／寺澤周平
竣工／H29年4月 I C／宮下知広
敷地面積／248.59坪 プランナー／片桐寿美
延床面積／35.02坪 施工／平澤雄太



北窓に面した明るい印象のダイニング。階段との境には縦格子を設け、空間仕切りと開放感を両立。



お母様の居室は、長押を設け京壁で仕上げた畳の間。古材を再利用して、建替えの寂しさを喜びに変えた。

家づくりのきっかけを教えてください！

四季をお住まいになって、いかがですか？

奥様 父が亡くなり母が一人になったこともあり、実家での同居を具体的に考え始めました。ただ、実家の母屋は増築して日が浅かったので、リフォームや敷地内新築などいろいろな案がありましたが…。母屋を一部残して仮住まいや物置としても活用しつつ、隣に皆で住む家を新築する、という計画に落ち着きました。父の思い出が残る母屋や、母が手をかけてきた和の庭にも似合うプランをご提案いただきました。

奥様 実は、12月にウズラの卵が孵化したんですよ！暖かい環境を好む動物で冬に生まれることは珍しく、常に25～30℃程の室温が必要なので長生きできないかなあと思っていたのですが、元気にひと冬を超えました！この家の暖かさがよく伝わるエピソードでしょう(笑)
無垢の床も気持ち良くて、子どももウズラも家じゅう元気に飛び回っています。

お母様 母屋にあった床柱や式台を美しく再利用していただいたり、解体した蔵の基礎石を玄関アプローチに組み込んでいただいたり。旧来のものを良いかたちで遺していただけて嬉しいです。

お母様 とにかく暖かく冬を越せましたよ、それも家じゅうがあったかい。前の家では居間のひと部屋を閉め切って暖房していたので、部屋を移動するときの温度差が嫌でした。洗濯物も乾きが良くて、けいそう土の調湿効果のおかげかもしれません。



担当 平澤雄太

Focus on the Owner!!

以前は埼玉のアパート住まいでペットが飼えずに寂しかったというK様が、新居に招いたのはウズラの卵！幼い頃ニワトリを飼っていた経験もあり親しみがある。臆病な性格だが、雛から育てると飼い主に懐いてくれるそう！

